

法人（事業所）理念	法人：「光の当たりにくい人々とともに歩む」 事業所：気持ちの良い挨拶と風通しの良い環境の中「目配り・気配り・心配り・支え合い」の気持ちを忘れずに。										
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の成長に合わせ、安全・安心で自分らしく学校や家庭以外の場所で過ごしたり、人と関わる機会を提供する。 ・本人の自己肯定感や有用感を高め、実現していく力を培う。 										
営業時間	第1単位	8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし	※現在は学校から事業所への送迎のみ（飯高特別支援学校・香取特別支援学校・小見川中央小学校）
	第2単位	9時	30分	から	18時	30分	まで				
支援内容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・登所時に検温を行い、体調の把握を行う。また、心身の異変に気づけるように身体や表情の観察を行い必要な対応を行っていく。 ・食事、排泄、衣類の着脱、整理整頓（片付け）等の基本的な生活スキルを獲得し、一人ひとりの生活習慣が形成できるように支援をしていく。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・動的な活動（サーキット運動、子どもダンス、散歩、伝承遊び、トランポリン、夏はプール等）で身体を動かす、体力や筋力の維持、強化を図れるように支援していく。 ・感覚遊び（小麦粉粘土、スライム作り等）の活動を通して五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、臭覚）を刺激し、保有する感覚を活用できるように支援をしていく。 ・自力での歩行や車椅子の自走等、日常生活に必要な移動能力が向上できるように支援していく。 ・一人ひとりの感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）に配慮し、感覚の偏りに対する環境調整等の支援をしていく。 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・調理活動を通して様々な経験を積み、個のこだわりや偏食に対する支援をしながら楽しむ。 ・制作や化学実験を通して物の形、色、大小、重さ等の概念の形成を図り活用できるように支援していく。 ・一人ひとりの認知の特性に配慮し、写真や絵カード等を使用して視覚的にスケジュールを伝え、適切に行動できるように支援していく。 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・場面に応じた言動や対応等、人との関わり方についての学びを含めたコミュニケーション能力が向上するように支援していく。 ・一人ひとりの認知の特性に配慮し、言葉だけでなく表情や指差し、身振り等を用いて意思の伝達ができるよう支援していく。また言葉の習得、発語を促していく。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・環境や人に対する安心感や信頼感がもてるよう、本人の話しを傾聴し助言することで安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけ安定した情緒の下で生活ができるよう支援する。 ・見立て遊びやごっこ遊びを通し、社会性の発達に繋がるよう支援していく。 ・ルールのある遊びを通し、集団生活に参加できるように支援するとともに、仲間づくりに繋がるよう支援する。 									
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての困り事への相談、助言の他、関係機関と緊密な連携を図る。 ・家族参加の行事等を通して保護者同士の交流の場を設ける。 										
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、地区のクリーンデイ（ゴミ拾い）を実施 ・災害時に地域の避難所を開設 										
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所への情報提供 ・生活介護事業への移行支援 										
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施または研修の機会を確保し支援の資質の向上を図り、職員は積極的に参画する。 ・支援を適切に提供する上で、その方の発達段階の特性、障害種別やその特性の内容を理解するよう知識の習得に向けた意欲を喚起する。 										
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練（年3回）/初詣/節分/夏まつり/ハロウィンパーティー/親子で運動会/クリスマス会 										